

聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会 研究倫理審査委員会にて許可されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、ご自分の診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合、また、研究について詳細にお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。

① 研究課題名	骨軟部腫瘍における中央病理診断および症例集積による臨床病理学的解析		
② 実施予定期間	承認日～2022年3月31日（予定）		
③ 対象患者	1971年7月～2017年3月31日までに聖マリア病院で診断された骨軟部腫瘍症例(WHO classifications of the bone and soft tissue tumor に記載されている症例)。 中止基準： ・研究への参加を希望しない旨の申し出があった場合		
④ 対象期間	1971年7月～2017年3月31日		
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院 九州大学大学院医学研究院形態機能病理学分野		
⑥ 対象診療科	病理診断科		
⑦ 研究責任者	氏名	檜垣 浩一	所属 病理診断科
⑧ 使用する資料等	<p><取得する情報> 年齢、性別、病歴、腫瘍の大きさ、stage、画像（X線、CT、MRI） 血液検査結果（手術前の白血球数とその分画、C反応蛋白値、血沈値） 施設病理診断名・転移・再発・予後データ 切除組織の永久標本</p>		
⑨ 研究の概要	<p>骨軟部腫瘍は他の癌腫、いわゆる上皮性腫瘍と比べて稀なため、病理診断に難渋することも多く、施設病理診断では、組織型が確定しないこともしばしばである。従って、症例経験の豊富な病理専門医による中央病理診断が望まれている。また、各々の組織型に関して、予後を含めた悪性度に関する評価についても一定の見解を得ていないものが少なくない。</p> <p>今回、各施設にて発生した骨軟部腫瘍を中央病理診断し診断を確定させる。その際、施設診断との一致率を検討する。また、中央病理診断された骨軟部腫瘍症例について、臨床病理学的事項と比較検討し、悪性度を評価する。</p> <p>上記研究は、九州大学を中心に多施設共同研究として実施される。当院も、試料情報の提供施設としてこの研究に参加する。</p>		
⑩ 倫理審査	研究倫理審査委員会承認日	2018年 9月 6日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧でき		

	ます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	九州大学大学院医学研究院形態機能病理学のホームページに掲載論文等の発表をもって公表とする		
⑬ 個人情報の保護	個人情報を守るために責任者を設定します。研究する際も、個人を特定できる情報は使用せず、特有の番号で管理します。学会で発表する場合も個人を特定できる情報は使用しません。		
⑭ 知的財産権	九州大学に属します		
⑮ 研究の資金源	特にありません		
⑯ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません		
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	聖マリア病院 病理診断科 檜垣 浩一		
	電話	0942-35-3322	FAX 0942-34-3115